

# ゆい ちゅうぶ

第6回

健康あるある

「トリアージ」について

2015

2

vol.36



中部病院では、毎年新年を迎えた早朝に集合写真を撮影しています。  
今年も健康と安全を願い笑顔で仕事をしていきます。



## 2月の催し

「肺がんの早期診断のための研修」開催日:2月下旬

詳細は、中部病院がん事務局まで(内線:3214)

「ゆんたく会のご案内(がん患者さんとご家族のための)」

第63回 日時:2月26日(木)午後2時~4時 第3会議室

第64回 日時:3月25日(水)午後2時~4時 第3会議室

第65回 日時:4月23日(木)午後2時~4時 第3会議室

\*日時の変更の可能性もあります。事前にご確認ください。

[地域連携室便り]  
[ぽっっちゃりナースの  
スリム化プロジェクト]



謹賀新年 平成27年



## 2015年 新年のあいさつ



### 新年を迎えるにあたり

院長 松本 廣嗣

皆様、新年明けましておめでとう御座います。「ゆいちゅうぶ」の発行のタイミングで新年のご挨拶が2月になってしましました。皆様に取りましてこの未年が輝かしい年となり、世界が平和を取り戻すことをお祈りしますと同時に、本年も中部病院のご利用並びにご支援をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

政府は「社会保障と税の一体改革」の名のもとに、地域全体で医療・福祉を担っていくように大きく舵を切って進み始めました。沖縄では今後も人口の増加が続くと同時に高齢者の割合も増えていきます。世界に誇る日本の国民皆保険制度を維持するには、医療費が互助・共助の精神で成り立っていることを再認識することが大切です。これからは患者様とかかりつけ医と当院の主治医による連携や、中部病院のような高度急性期または急性期病院と回復期あるいは慢性期を受け持つ医療施設との密な連携、さらには在宅医療の推進がますます重要になって参ります。患者様には当院主治医からかかりつけ医への紹介や転院などのご協力を求めることが多くなってきますが、何卒ご協力頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

### 新年のあいさつ

副院長兼看護部長 德森 朝子

皆様、あけましておめでとうございます。  
2015年年頭にあたり、輝かしい新年を皆様共々にお祝いした  
くご挨拶を申しあげます。

昨年7月、病院機能評価機構を受審しましたが、「合格したい」というひとり一人の思いが結集したことでの合格につながりました。改めて御礼申しあげます。合格を本物にするためにも、決めたルールを守り、守られているかチェックする機能が必要となります。看護部は、これからも5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)活動を病院全体の取り組みとして拡大していく、職員全員が"カイゼン"を意識し、行動がとれるよう、推進委員へのサポートを強化していきます。また、平成23年度より看護師配置を7対1にする、看護補助者、医師事務作業補助者を採用するなど診療機能の充実、職場環境の改善、患者サービスの向上に努めてまいりました。今後、医療・介護サービスの提供体制改革が求められ病院では病床の機能分化・連携及び在宅医療も視野に入れた医療を提供しなければなりません。看護はどのような状況にあっても、安全で安心な看護サービスを提供できる準備をしてなければなりません。そのためには、常に看護職員が確保されることが必須となります。平成27年度は、さらなる職場環境の改善、人を確保し、患者サービスの向上に努めてまいります。

今後とも、どうぞよろしくお願いします。



# 地域連携室便り

20152号

気象庁は1月15日午後、沖縄県那覇市のカンヒザクラの開花を発表しました。ふと身の周りに目をやると蕾が膨らみつたことが夕暮れのシルエットにも見えるこの頃です。とはいえ、報道によるところによると、インフルエンザの定点観測値は警報レベルをはるかに越え、もうしばらく寒さは続きそうです。

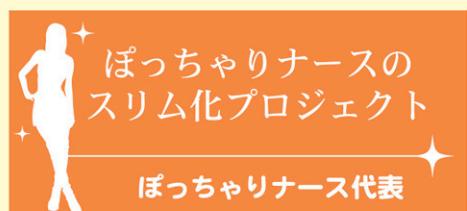
そんな中、第12回地域医療機関新春懇談会が開催されました。総勢300人ほどがヒルトン沖縄北谷リゾートに集結し盛況のうちに無事終了することができました。お集まりいただいた皆様にはこの場を借りて改めて御礼申し上げます。

さて、今年も2部構成で開催された懇談会が開催されました。当院所属の認定看護師の紹介と今年度、新たに進める取り組みについて発表し一口アートとの意見交換が行われました。

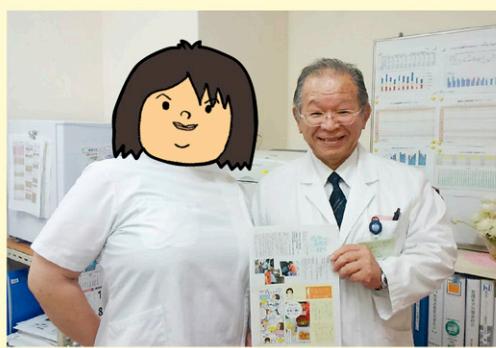
現在、当院には11人の認定看護師が所属しています。これまで院内における教育、啓蒙および環境整備等を担つてきました。しかし、一回の講演だけでは知識やスキルをその医療機関に定着することが

困難です。これを解決するために看護部のバックアップを受け、認定看護師が近隣医療機関に出向き、各医療機関の職員とともに現状分析から目標の設定、解決方法の立案等を行って実行に移します。さらに、定期的に連携医療機関を訪問して知識とスキルの実態を把握し現場のニーズに合わせた解決策の提示を行います。すでに近隣医療機関から要望のあった緩和ケア病棟立ち上げに緩和ケア認定看護師が積極的に関わり計画が進みつつあるとの報告もありました。

是非この機会を活用いただき地域の医療連携を深めつつ患者さんへ提供する医療の質の向上に寄与できれば幸いと考えます。



新年あけましておめでとうございます。P子の報告ですが、年末のとある日に、体重測定を行いました。P子のプロジェクトからの目標体重を見事クリア(マイナス22kg)したはずなのですが、年末は、多数の忘年会に参加!!周りの警告に聞く耳もたず(リバウンドプラス4kg)サポートのスタッフも呆れてはててしまふ始末でした。でも、P子はわかつていたのです。自己管理できないから、挑戦したはずですが、あきらめモードでありましたが、本人から「見てくれてないとできない」と申し出があり、このプロジェクトは続行しています。そう、やはりダイエットは、一人だと続けることが難しいのです。周囲に宣言し、応援してもらうことで続けられるのです。食べ癖は、なかなか治りません。だけど、運動と筋トレを組み合わせて行うことで、習慣化し健康な



★ユニホームの袖口にゆとりを見せてきた、P子と松本院長  
まだまだ感じですが…

ダイエットができるのです。  
あきらめない強い心も育てながら、まだまだP子のプロジェクトは終わりなき戦いとなります。さあ、あなたも宣言して健康的にダイエットプロジェクトに参加しませんか?

## 「トリアージについて

# 健康 あるある

救急対応



みなさんはトリアージという言葉をご存知でしょうか？

もともと災害医療において使われている言葉で、多数傷病者が発生した場合に、治療や搬送先の選定の優先順位を決定する行為のことをいいます。

これは救急医療に関してもそうで、救急には時に非常に多い患者さんが受診されます。それに対して医療者側の数は限られるので、すべての患者さんを来院された順に診ていくと、より緊急度の高い患者さんの治療が遅れる可能性が高まります。そのため、救急では「トリアージ」を診療の先に行い、より緊急度の高い患者さんの治療を優先して行えるようになります。

(救命救急センター医師 宜保光一郎)

◆パツチワーケキルトの贈呈式

(H26年12月19日金曜日)

2011年より毎年OIPG沖縄国際インターネットショナルパツチワーケギルトからNICUへサンタさんがやってきて素敵なパツチワーケギルトを届けて下さいました。今年もサンタさんから依頼をうけた会長のバービー、ニッカボッカ?さん他2人が代表で届けてくださいました。

会員の皆さんの中には、暖かい思いやりが暖かいパツチワーケギルトに伝わりNICUにクリスマスと春が一度に訪れたような優しい気分になりました。

新生児科部長の源川隆一先生が英語でお礼の言葉を述べてくれました。

どうもありがとうございました。



### ◆小児発達センターでのクリスマス会

(H26年12月18日木曜日)

今年も小児発達センターでのクリスマス会に新生児科(NICU)、小児科(6歳)も一緒に参加し楽しい時間を過ごしました。この交流は1988年から26年間も続いています。小濱安先生や真喜屋智子先生を先頭に医師看護師、医師クラーク、保育士の総勢15人で参加しました。NICUでは何日も前から余興の練習に余念がなく完璧な演技で子供たちを笑いの渦巻き込んだようです。そして今年もビビデバビデブー楽団がすてきな演奏で華を添えて下さいました。



「ちゅうぶshow」では中部病院ならではの取り組みをこっそり紹介します。

NICU長  
赤嶺美智子

## なんぶ歳時記

県立病院・リレー連載

県立精和病院 看護師 塩川馨

昨年、15年ぶりに中部病院から精和病院に転勤しました。昔とあまり変わらないところもあります。変わったところもありました。変わらないところは、15年前勤務していた頃に入院していた患者さんがまだ入院されていてご高齢となっている事です。変わったなーと思ったことは現在は作業療法(OT)が活発になつており、農園芸、カラオケ大会、コーヒーショップ、グランドゴルフ、映画鑑賞会、料理教室、懶々タイム(臨床美術、フラワーアレンジメント、七宝焼、革細工、陶芸、茶話会、エアロビックス、ソフトバレーボール、音楽クラブなど、日々様々な活動をしています。以前の仲間もあり、一緒に看護できることは心強いいです。

精神病院は、東大に入学するよりも転勤が難しいと言われています。運よく転勤することがあれば、共に頑張っていきましょう。お待ちしています。

### 沖縄県立中部病院へのお問合せ

〒904-2293 沖縄県うるま市宮里281

TEL: 098-973-4111(代)

FAX:[代表] 098-973-2703  
[地域連携室] 098-982-6568

沖縄県立中部病院



ホームページ <http://www.hosp.pref.okinawa.jp/chubu/>